

## 秩父病院地域医療研修 感想文

日本医科大学千葉北総病院 研修医2年目 M.R.

1か月間大変お世話になりました。短い間でしたが、秩父病院では普段大学では経験できない外来業務はじめ多くのことを経験することが出来ました。初診の患者を最初の病歴聴取から検査、診断、今後の方針と最初から最後まで診るという経験は今後3年目以降とても大事になってくると思います。指導医の近江先生にはアセスメントの大切さや画像の読影と多くのことをご指導いただき大変お世話になりました。実際に経験することで問題点が浮き彫りとなり、1か月ではありましたが自分でも成長を実感することが出来ました。まだまだ知識や外来経験等十分とは言えませんが、それでも先生方はじめ、病院スタッフの皆様を支えられ大変充実した研修を送ることが出来ました。

研修2日目には大動脈解離の転院搬送というとても貴重な経験をすることもできました。自分の力不足を実感するとともに多くの反省点もありました。地域では病院間の連携やいかに迅速にかつ正確に診断し、判断をしなければならないということを身をもって実感しました。手術においても麻酔から挿管、覚醒まで自分たちで一貫してやるという経験も大学ではなかなかできないものなので、挿管や麻酔管理といったこともとても勉強になりました。救急車内での挿管がいかに難しいかということも実際に経験してみて改めて実感しました。秩父へ来る前に ACLS/BLS の講習を受けましたが、実際に患者を目の前にすると講習では当たり前でできたことが出来なかつたりもしました。経験することがいかに大切かを学びました。

4月からは産婦人科の方へ進みますが、この病院で得た経験と知識を生かしていきたいと思います。最後にとても充実した研修を送ることができましたが、これもひとえに秩父病院の先生方、看護師の方々、医療スタッフの皆様のおかげです。1か月間本当にありがとうございました。